

(株)東芝 三重工場 サイトレポート情報	
所在地	三重県三重郡朝日町大字縄生2121番地
敷地面積	245,236m ² 、建家面積：128,453m ² 、緑化率7.5%
設立	1938年3月、従業員：1,600人(2011年3月現在)
主要製品	変圧器、コントロールセンタ、電動機
ISO14001認証取得	1996年6月、最新更新年月：2010年1月 (ISO認証番号：EC99J2004)



ごあいさつ

(株)東芝三重工場は、三重県の北部に位置し、旧東海道沿いの住宅地に囲まれた立地の中で事業を展開しています。工場では、事業活動における環境負荷低減として、省エネルギーや廃棄物削減などに取り組んでおります。また、変圧器、電動機など使用段階にエネルギーを多く消費する製品を製造していることから、お客様が使用する段階で地球環境の負荷低減に貢献できるよう、効率の高い(ロスの少ない)製品の開発に取り組んでいます。当社競争力の源泉の1つである“ものづくり力”をさらに強化し、開発部門とともに事業成長の核となる部門を作り上げるべく、全社的な連携を目指しています。また、構内に所在する東芝産業機器製造(株)を始めとした各会社、及び各社従業員と共に一丸となって環境活動に取り組んでいます。



環境保全責任者 丸尾 達也

2010年度の環境の主な取組み

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
1997年1月に(三)として認証取得、2007年1月に[電産社]の一サイトとして新たに統合取得し、2010年1月更新。
- ☆環境保全体制の充実
法・条例・自主管理値の順守。現場管理の強化。
- ☆化学物質排出量の削減
化学物質の排出量を、2000年度と比べて、47.9%削減(目標:50%削減)。
- ☆CO2排出量の削減
CO2(エネルギー)の生産高原単位を、2005年度と比べて、7.9%削減(目標:7.0%削減)。
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続
廃棄物総発生量原単位を、2005年度と比べて、21.3%削減(目標:9%削減)。
廃棄物総発生量に占める埋立処分量の割合(最終処分率)は、0.05%(目標0.3%)。
- ☆環境調和型製品の開発
ECP製品化率61.4%(目標60%)。特定化学物質(JIG15物質)の全廃活動推進。
- ☆資材取引先に関する環境配慮
取引先に指導・支援、環境配慮資材の調達、廃棄物委託先現地確認(全21社)。
- ☆全員参加・啓発活動の展開
環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動、環境ニュース等。
- ☆地域との協調
地域の各種環境行事へ参加、清掃ボランティア活動の参加等。

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

- 《主要開発項目》
- ①消費電力(損失)削減
 - ②質量、部品点数低減
 - ③ファクターT向上
 - ④有害化学物質削減 他

次期高効率モータ



スーパー高効率
エコタイプ油入変圧器



スーパー高効率
エコタイプモールド変圧器



環境コミュニケーションの紹介

- ・『東芝三重工場環境報告書 2010』の発行:2004年度より毎年発行
- ・地域との交流:リサイクル及び募金ボランティア(収益金の寄付)、老人ホーム清掃活動、他
- ・自治体等主催行事参画:『朝日町企業エコネット』へ参画し、地域と連携した地球温暖化防止活動への取組、エコキャップ回収運動、チャレンジ25への参加 他

(株)東芝 社会インフラシステム社 三重工場 環境方針

三重工場は、東芝の産業用電気機器事業の拠点として、敷地内に所在する東芝産業機器製造株式会社、東芝シュネデール・インバータ株式会社及び構内常駐会社と共に、省エネ・高効率を主とした変圧器、コントロールセンタ、モータ、インバータ、配電機器等の環境調和型製品の提供を通じて社会に貢献します。また、地域住民との一層の協調を図り、生物多様性を含め地域環境の向上に向けた事業活動を推進します。

そして、構内で働く全ての者が、環境保全への取組を経営の最重要課題の一つとして位置付け、「かけがえのない地球」環境を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち行動します。

- (1) 環境保全に関する法令、当工場が同意した業界等の行動規範、および自主基準を遵守します。
- (2) 環境影響評価に基づき技術的、経済的に可能な範囲で環境目的、および環境目標を定め、その実現に向けて環境保全活動を推進します。また、それらの実績を踏まえて環境目的、および環境目標を定期的に見直し、(三)環境保全システムと環境パフォーマンスの継続的な改善・向上に全員で取り組みます。
- (3) 地球資源の有限性を認識し、環境技術の開発を通じて環境負荷の低減に配慮した環境調和型製品の提供に努めます。
 - ①省エネルギー製品の創出
 - ②製品の小型・軽量化、長寿命設計による省資源化
 - ③特定化学物質の削減
 - ④製品環境効率の向上
- (4) 事業活動・サービスに関わる著しい環境側面について環境汚染の予防を通じて環境負荷の低減に取り組みます。
 - ①廃棄物の削減とゼロエミッションの推進
 - ②生産プロセスの改善、省エネルギー型設備の導入などによる省エネルギーの推進
 - ③温室効果ガス(SF₆)の排出抑制
 - ④規制化学物質の削減
 - ⑤環境負荷の少ない物品や材料を購入するグリーン調達
- (5) 取引先に対して指導・支援を行うと共に、地域社会との協調連帯に努め、社会の環境活動に参画・協力します。



改定日 2011年4月1日

株式会社東芝 社会インフラシステム社 三重工場

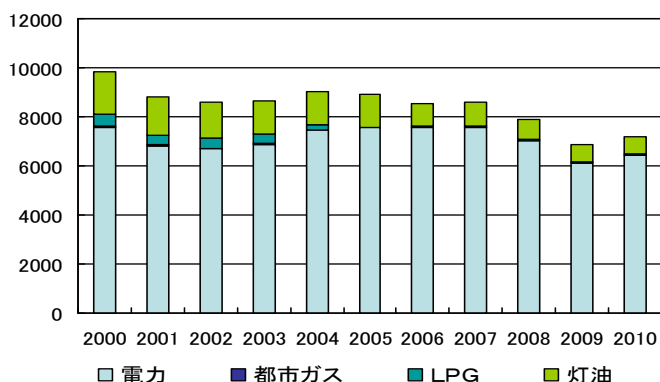
工場長 丸尾達也

三重工場スローガン:

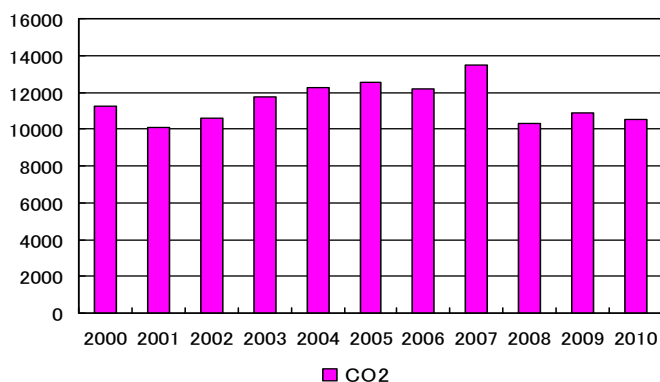
『一人ひとりのまごころで 未来に引き継ぐ すてきな地球』

環境負荷データ

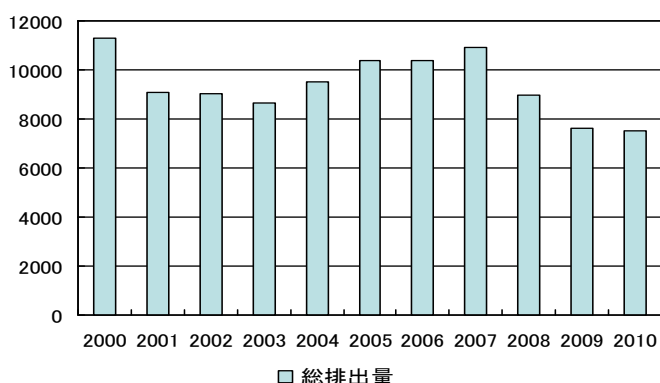
エネルギー使用量(単位:KL)



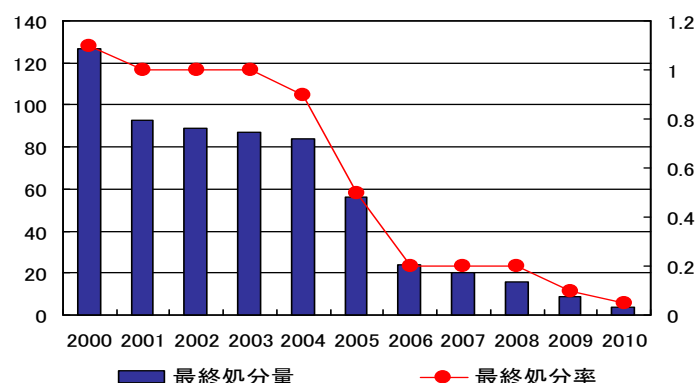
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

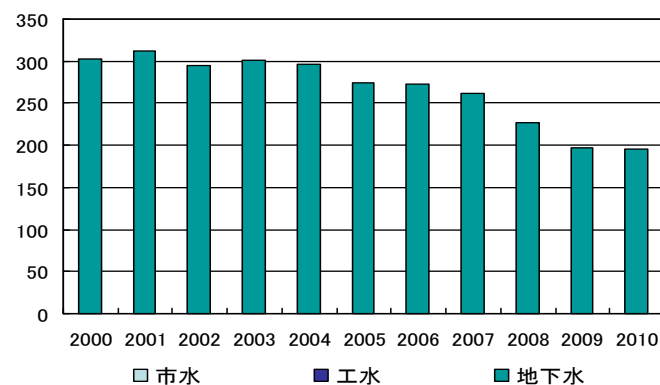


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

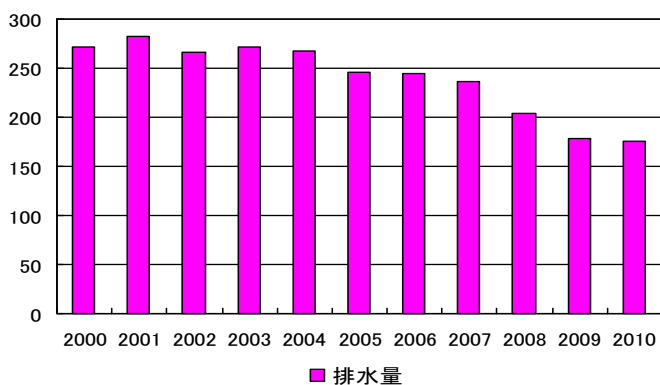


主な廃物名:酸、汚泥、金属、木屑、プラスチック、油等

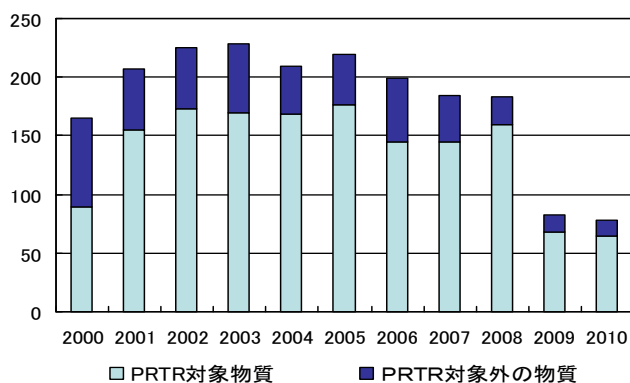
水の使用量(単位:千m³)



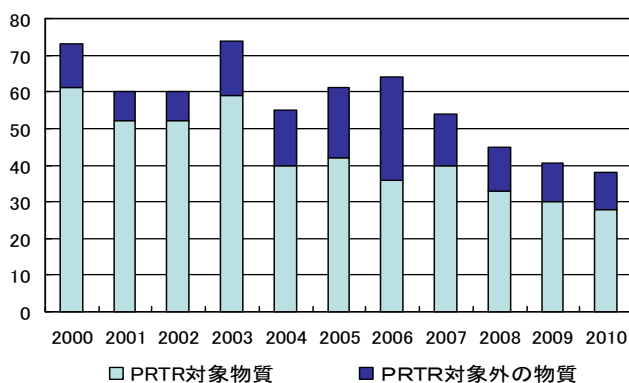
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質:トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン

遵法管理状況

<大気測定結果> 多管式小型貫流ボイラー(灯油使用) 3台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	150	26~74	年2回
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	100	0.05	<0.005	年2回

<排水測定結果> (主な測定結果)表面処理施設(酸又はアルカリ表面処理施設)など、用水路を経て伊勢湾へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6(水濁法)	6.0~8.3	7.3~7.9	連続、月1回
BOD(mg/ℓ)	日間平均120(水濁法)	20.0	<3	月1回
COD(mg/ℓ)	日間平均120(水濁法)	20.0	1.0~4.0	連続、月1回
SS(mg/ℓ)	日間平均150(水濁法)	20.0	<5	月1回
窒素(mg/ℓ)	日間平均60(水濁法)	15.0	0.7~5.6	連続、月1回
フッ素(mg/ℓ)	8(水濁法)	4.0	<0.1	年1回

<騒音・振動測定結果> 騒音・振動測定結果(特定施設なし)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	対象外	65	45~59	年1回
	敷地境界:夜	対象外	55	40~50	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	対象外	60	<42	年1回
	敷地境界:夜	対象外	55	<40	年1回

<その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	600	540	83	年1回
SS(mg/ℓ)	600	540	54	年1回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし